

**第10回生研フォーラム
「宇宙からの地球環境モニタリング」
プログラム**

2001年3月30日(金曜日)

10:25 - 10:30	開会挨拶	安岡善文 (東京大学生産技術研究所)
10:30 - 10:50	MODELING THE EFFECTS OF RECENT LAND USE CHANGE ON THE CARBON CYCLE IN THE ZHU JIANG DELTA REGION OF SOUTHERN CHINA	Dennis G. Dye (地球フロンティア研究システム)
10:50 - 11:10	NOAA/AVHRRとSPOT/HRVのスケーリングによる西シベリア湿原からのメタン発生量の推定	竹内 渉 (東京大学生産技術研究所)
11:10 - 11:30	シベリアにおける植生指数(NDVI)の季節性・地域性と気温・降水量との関係	鈴木 力英 (地球フロンティア研究システム)
11:30 - 11:50	シベリア地域における広域メタン発生量の推定	中野 智子 (東京都立大学)
11:50 - 12:10	ENSO活動が植生に及ぼす影響	松田 咲子(東京大学生産技術研究所)
12:10 - 13:30	Lunch	
13:30 - 14:10	(特別講演)衛星リモートセンシングによる炭素循環マッピングー森林を対象としてー	粟屋 善雄 (森林総合研究所)
14:10 - 14:30	JERS-1SAR画像から検出した熱帯林地帯の比較的狭い河川の川幅の変化から見た広域的な河川の水量の季節変化ーアマゾン、ニューギニア、コンゴ盆地についてー	高木 幹雄 (東京理科大学)
14:30 - 14:50	正規化植生指標NDVIIによる都市域の緑被率推定	平野 勇二郎(東京大学生産技術研究所)
14:50 - 15:10	植生等量線を考慮した植生指標設計概念の検討	吉岡 博貴 (愛知県立大学)
15:10 - 15:30	土地被覆分類図精度が植生純一次生産量(NPP)の推定及ぼす影響の検討	趙 文経 (国立環境研究所)
15:30 - 15:40	Coffee Break	
15:40 - 16:20	(特別講演)大気と陸面の結合とは何かー雪を事例としてー	高田 久美子 (地球フロンティア研究システム)
16:20 - 16:40	ハイパースペクトルリモートセンシングによる純光合成速度の計測に関する研究	遠藤 貴宏 (東京大学生産技術研究所)
16:40 - 17:00	NOAA AVHRRによる全球植生活動経年変動モニタリングと気候データを用いた要因解析	市井 和仁 (名古屋大学大学院)
17:00 - 17:20	リモートセンシングによるサンゴ礁白化現象のモニタリング	山野 博哉 (国立環境研究所)
17:20 - 17:40	衛星リモートセンシングによる汽水域の一次生産量モニタリングに関する研究ー島根県の宍道湖を例として	作野 裕司 (広島大学)
18:00 - 19:30	懇親会	